

かんら

議会だより

群馬県甘楽町議会
平成29年10月15日

171号



「福島小学校運動会」



かんらちゃん

平成29年7月臨時会・9月定例会

提出議案…………… 2～3

全員協議会報告…………… 9

一般質問…………… 4～8

議会活動報告…………… 10

平成29年9月甘楽町議会 第3回定例会

第3回定例会は、9月7日(木)～15日(金)の9日間開催され、補正予算、決算の認定など20議案が町長から提出され、すべて原案のとおり可決されました。最終日15日には、6議員による9問の一般質問が行われ閉会しました。

提出議案

◆表彰関係 2件

○有功者の選定(2人)

◆条例の制定 1件

○土砂等による埋立て等の規制に関する条例

◆条例の一部改正 4件

○防災会議条例
○税条例
○介護保険条例
○敬老祝金条例

◆補正予算 5件

○一般会計(第2号)
○国民健康保険事業特別会計(第1号)
○介護保険事業特別会計(第1号)
○後期高齢者医療特別会計(第1号)
○水道事業会計(第1号)

◆工事請負契約の締結 1件
○旧一中校舎等解体工事

◆平成28年度決算の認定 7件

○一般会計歳入歳出決算
○国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
○介護保険事業特別会計歳入歳出決算
○農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
○公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
○後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
○水道事業会計決算

議員発議

○議会委員会条例の一部を改正する条例
○市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係わる補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

第2回臨時会

7月20日(木)、第2回臨時会が開催されました。

◆議会議決を要する契約(5千万円以上)及び財産の取得(7百万円以上)に関して、承認可決をしました。

提出議案

◆工事請負契約の締結 2件

○総合福祉センター改修工事(建築工事)
○総合福祉センター改修工事(機械設備工事)

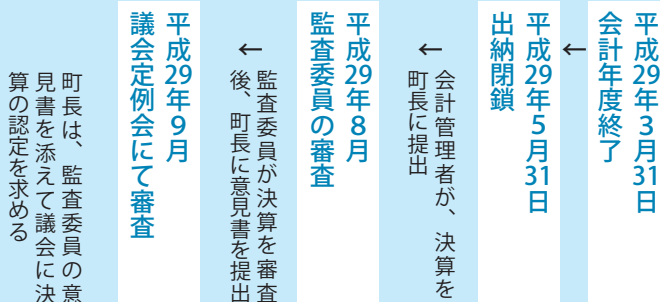
◆財産の取得 1件

○消防ポンプ自動車の購入

「決算認定」

1年間(4月1日～3月31日)に町に入ったお金(収入)や町が使ったお金(支出)について、議会が、その内容を審査し、収入・支出が適法かつ正当に行われたことが確認されれば「認定」となります。

「決算認定」までの流れ



■認定された決算の状況

(単位：万円)

会計別	歳入総額			歳出総額		
	28年度	27年度	対前年度比(%)	28年度	27年度	対前年度比(%)
一般会計	53億4,107	83億2,063	64.2	51億2,024	80億4,005	63.7
国民健康保険事業特別会計	18億2,879	19億7,556	92.6	17億6,458	19億 509	92.6
介護保険事業特別会計	10億8,835	10億3,480	105.2	10億5,964	10億2,258	103.6
農業集落排水事業特別会計	1億4,018	1億4,377	97.5	1億3,967	1億4,327	97.5
公共下水道事業特別会計	5億 841	5億3,394	95.2	5億 789	5億3,338	95.2
後期高齢者医療特別会計	1億2,666	1億2,362	102.5	1億2,655	1億2,318	102.7

■水道事業会計

(単位：万円)

区分	収入		支出	
	28年度	27年度	28年度	27年度
収益的収支	2億5,415	2億5,010	2億2,006	2億1,773
資本的収支	4,470	2億 297	1億5,984	3億7,877

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金・当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされました。

■議員の賛否がわかれた審議議案

議案名		議員名	議決結果	黒澤	相川	金田	山崎	富岡	江原	中野	長谷川	柳澤	中里	山田	佐俣
				篤	忠夫	倍視	澄子	朝男	榮和	喜久勇	儀平	清次	芳久	邦彦	勝彦
議案第40号	平成28年度甘楽町一般会計歳入歳出決算の認定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
議案第42号	平成28年度甘楽町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
議案第45号	平成28年度甘楽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—

※ 「○」は賛成。「×」は反対。議長は通常採決に加わらないため「—」で表示。

※ なお、上記以外の議案については、すべて全会一致で承認されました。

防災・減災対策について

黒澤 篤 議員

■議員 毎年のように地震・水害・土砂災害が日本各地で発生し、特に記録的短時間大雨情報が頻繁に聞かれ、今までに経験したことがないと言現されることが多くなりました。

そこで質問します。
①防災マップについて。作成以後に特別警報や避難所等の変更もあったので速やかにマップの更新が必要と考えます。作成の際には誰にでもわかりやすく、命を守るためにすることを大きく表示してはどうですか。
②災害時にカメラ付きドローンによる状況把握について。町での利用の可能性はありますか。
③砂防ダムについて。白倉川上流の場合、

現在は砂防の役目を終えているので、土砂の浚渫や透過式に改造し下流域の災害軽減に繋げてはどうですか。



■町長 ①現在、改定作業を進めている地域防災計画に沿って検討を行い、県等による災害警戒区域調査結果も踏まえ、速やかに対応したいと考えています。

②災害等により立ち入りができない場合等では有用であると思われませんが、航空法及び無人航空機ガイドライン等に基づく安全性、現実性の観点から現状では独自利用は難しい状況です。県等では、測量・調査関連業者等と災害時協定を結び対応していますので、今後、町でも対応を検討していきます。
③浚渫については、砂防施設の維持管理等を行っている富岡土木事務所へ協議したいと思えます。透過式への改造についても、改修工事の可能性や効果等検討をお願いしたいと思います。対応は難しく、新たに設置されるケースが多いものと考えます。

かんら保育園の現状と今後について

金田 倍視 議員

■議員 甘楽パーキングエリア・スマートインターチェンジ連結許可をいただき、いろいろの面で町の発展が大いに見込まれるところで。甘楽町への転居、移住を考えている人達にとつても、大層魅力のある町として考えているのではないのでしょうか。

そこで、今後、誘致活動なども含めて人口の増加が見込まれます。この人達や町民の子育てに対し、現状ではいっばい状態である保育園の受け入れ態勢に、より一層の拡充が必要かと思われすが、町の考えをお聞かせください。

■町長 かんら保育園には、9月1日現在で、園長以下保育士、栄養士、調理員、用務員の34人がおり、国の定める児童福祉施設の設備及び運営に関する基準に基づき、189人の幼児をお預かりしています。

敷地面積等を勘案しますと、これ以上の施設の拡充につきましては、少し困難であると感じています。
したがって、大幅な保育需要増大があった場合、その対応につきましては、今後予定している統合幼稚園において、教育と保育を一体的に行い、地域の実情や保護者のニーズに応じて選択が可能となる「認定こども園」として整備する

ことなどを検討していきたいと思えます。
なお、現在、かんら保育園に入れない子がいるという状況ではありません。



紅葉山東側斜面に東屋 及びベンチの設置を

柳澤 清次 議員

防災対策へ女性避難所 リーダーの育成と導入を

山崎 澄子 議員

■議員 紅葉山公園
は、甘楽町森林セラ
ピーコースになつてい
ます。

秋になると、地元の
人はもとより観光客も
現地を訪れ、紅葉や楽
山園を含める小幡の街
並みの景観を眺め、そ
れらの素晴らしさに感
動しています。毎年11
月には「甘楽もみじ祭
り」が開催され、大勢
の人で賑わいます。ご
年配の方も杖を携えて
訪れています。



東側斜面に東屋及び
ベンチを設置するこ
とによって、休憩する
こともでき、紅葉・眺
望・森林浴などゆつく
り満喫できると思いま
す。ぜひ、東屋及びベ
ンチの設置をご一考く
ださい。

町の考えをお聞かせ

■町長 紅葉山公園
は、森林セラピーの
コースの一つとして、
自然豊かで景観の良い
公園となっており、善
慶寺地区の皆さんに
は、草刈りなどを実施
していただき、景観維
持にご協力いただいで
います。

町の考えをお聞かせ

紅葉山の東斜面は

「名勝楽山園」からの
借景の一部となつてい
ますので、建造物など
で大名庭園の借景のイ
メージに支障が出るこ
とは避けなければなら
ないと考えています。

しかし、観光客の皆
さんが気軽に紅葉山
に登って景観を楽しん
でいただくことも大切
ですので、休憩できる
ベンチについては、景
観に配慮した物を設置
できればと考えていま
す。

なお、東屋の建設に
ついては、文化財調査
委員会の意見を伺いな
がら、今後検討してい
きたいと思えます。

■議員 災害時避難中

の人達の気持ちを和
らげるには女性の力が
大きく左右するでしょ
う。防災対策の一つと
して女性の目線で判断
し実行できる「女性避
難所リーダー」の育成
と配置をしていくこと
が必要ではないでしょ
うか。リーダーには机
上だけではなく、実情
ごとに実地訓練をして
いく。こういうリー
ダーを地域に増やすと
ともに地域で定期的な
防災訓練を行うことで
住民に防災意識と危機
感が備えつくと思われ
ます。

町の取り組みをお伺
いします。

■町長 大規模災害が

発生した場合、被災
者の多くは避難所での
生活を余儀なくされま
す。特に限られた生活
空間に多くの人が暮ら
す時、男女間でいえば
そのニーズの違いに配
慮するとともに、避難
所における女性の意見
の反映や女性の参画の
仕組みをつくる必要が
あると思えます。

また、女性の視点を
取り入れた避難所運
営を考えた場合、女性
リーダーが必要であ
り、各地区の民生委員
や保健推進員の皆さん
にお願したいと考え
ています。そして、女
性リーダーの皆さんに
は研修会や防災訓練に
も積極的に参加いただ
きたいと思えます。

町では、現在、地域

防災計画の改定作業を

進めており、避難所の
運営にも言及していく
予定です。また、避難
所における女性の意見
反映及び訓練の実施に
つきましては、避難所
運営マニュアルを作成
し、検討していきたい
と考えています。



花の種銀行の活用を

山崎 澄子 議員

■議員 不耕作地は、確実に増えています。

花の種銀行の球根や種を不耕作地に利用したらいかがなものでしょうか。また耕作機で耕せる田畑、水の引ける田んぼには菖蒲のような景観植物の導入もよいのではないのでしょうか。花が終わっても緑の葉茎が残り雑草の侵入も比較的少なくてすみます。

花の種銀行の活用をひろげ不耕作地を少しでも減らしていきたいものです。町ではどのような考えをお持ちでしょうか。

■町長 花の種銀行では、要望があれば、菖蒲等の景観植物についても対応したいと考えています。耕作放棄地解消のためにボランティア団体が植栽事業を実施する場合は、ポランテア活動推進事業に該当することも考えられますので、その際には企画課へご相談ください。

耕作放棄地については、関係者と協議を重ね、8月に「荒廃農地解消対策部会」を設置しました。今後、耕作放棄地を解消する取り組みに努めるため「荒廃農地一斉耕起の日」を早急に設定し、年度内に実施できるように部会員の皆さんの意思統一がなされたところで

す。



なお、耕起した農地

は、再び元に戻らないよう農地中間管理機構を活用し、農地の長期貸し付け及び農地再生を地権者に促すとともに、さらに景観作物の作付も提案し、少しでも耕作放棄地が減少することを目標としていきます。菖蒲などの景観植物もその方策の一つと思いますので、今後、対策部会の中で検討していきたいと考え

中学生国際交流研修について

中野 喜久勇 議員

■議員 今夏、第8次ハルビン市訪問甘楽町中学生国際交流研修団に、茂原町長を団長として中学生4名が派遣されました。

中学生の国際交流研修について、いつも町の役職者が引率しておりますが、教師も交えて引率したほうが、生徒も参加しやすく送り出す家族も安心感があるように感じました。今後は、一考する必要があると思います。町長のお考えをお聞きます。

■町長 中学生国際交流研修の随行員の業務は、事前の打合せ、事前研修の運営、派遣先での必要品の手配、帰国後の報告等多岐にわたります。教職員が

随行員になった場合、担当課と打合せをする必要がありますが、学校行事や部活動、夏季休暇中の研修等により日程調整が難しい

ことや、派遣先で交流事業、記念事業などの打ち合わせを実施する場合もあり、町職員でないとなしと任務を果たせない場合もあります。また、随行員を経験した教職員が町外の学校へ異動した場合には、細かな引継ぎが難しくなることも考えられます。

当初はチエルタルド市へ教職員を派遣していましたが、現在は、町の職員が職員研修の一環として随行員を務めています。

なお、派遣する中学生は、自ら海外研修に



左から、中国・日本・イタリアの国旗

参加したいという積極的な生徒ですので、引率者が誰であつても参加してもらえらると思います。

今後も随行員については、その都度、適任者を総合的に判断して選定していきたいと考えています。

児童館の設置について

山田 邦彦 議員

育児休暇について

山田 邦彦 議員

■議員 以前から「いつでも、どこでも、誰でも利用できる」児童館の設置を提案してきました。その考え方の一部は、今改装工事中の「センター」に活かされることと、大変良いことと思っておりますが、小学生の『足』（徒歩・自転車）は届きませんし、その構想では高校生は外れるイメージです。

③「児童館」を中心に「多世代交流」「生涯学習」の機能も持たせれば「元気な町」づくりの文字通り『センター』になります。



①幼稚園の統合後の跡地（含、建物）を利用すれば経費も少なく済むと思いますがどうか。誰でも徒歩でも行ける「居場所」となりませんか。

②「運営委員会」を作り各世代から委員を募り、行えば人件費も最小限で済むと思うがどうか。

■町長 児童館の設置は今のところ予定はありませんが、現在改修中の総合福祉センターの機能を最大限活かしていくことが重要だと考えています。その後、幼稚園の統合を検討する中で、将来の出生数や地域バランス、

子育て支援策と合わせ総合的に児童福祉施策を検討していきたいと思えます。

①新しい幼稚園の計画と連動して検討をしていければと考えています。

②児童館は、子どもたちが、安全・安心に過ごせるということが大前提であると考え、計画を作っていく中で、多くの皆さんのご意見を伺いたいと思えます。

③来年3月には「子育て支援センター」を開設し、建物内には地域包括支援センターも整備され、社会福祉協議会のデイサービスもありますので、「多世代交流」の機能を持つ施設になると考えています。

■議員 町長は、『子育てするなら甘楽』。『子どもは町の宝』と言います。ぜひ「役場」がその先頭になり行ってください。

今、全国の役場（役所）や企業でも、「イクメン」が増えているようですが、実際の育児現場では必ずしもそうなっていないようです。特に、「育児休暇の取得」は大変少ないと聞いています。



ために、仕事と育児を両立しやすい環境の整備に努めるリーダーです。

①役場での今までの取得状況は（男女別、期間別など）どうなっているか。

②『イクボス』制度を導入してはどうか。イクボスとは、男性の従業員や部下の育児参加に理解のある経営者や上司のことです。イクメンを職場で支援する

■町長 ①女性対象者の過去10年の育児取得者総数は15人で、すべて育児を請求し、承認されています。また、このうち育児取得期間の状況につきましては、10カ月以上1年未満3人、1年以上1年6カ月未満5人、

1年6カ月以上2年未満3人、2年以上4人の計15人で年々長期化する傾向にあります。一方、過去10年の男性の該当者は、合計で26人でしたが、いずれも請求はありませんでした。

②育児請求が職員の個人意思によることを尊重し、当面は考えていません。何よりも、上司、同僚、先輩を問わず、育児を取得しやすい職場づくりが必要と考えています。なお、言うまでもありませんが、請求があれば承認することを前提としています。

国民健康保険について

山田 邦彦 議員

■議員 「国保は、大事な社会保障制度のひとつです。来年度から『県』で一元化します。そうなれば「後期高齢者医療」のように保険料（税）が同額になると思っていま

なっていますが「個人情報保護」の観点から見ると正しくないと思います。改善する必要がありますがどう思いますか。

策等の強化を図り、疾病の早期発見・治療の推進等、きめ細かい行政サービスの継続し、税負担の軽減に努めていきたいと考えています。

したが、今回は、市町村で決める方向のようです。だとすれば、①国保税はもつと低く抑える必要があると思いますが、いかがでしょうか。例えば、「所得割」を下げる「均等割（人数割り）」をなくす。

②一定の滞納を過ぎた場合「資格証」、「短期証」を発行しないと国からのペナルティがあると思いますが、どのようなものか。
③「資格証」、「短期証」がわかるように



■町長 ①今後、県を示す標準的な算定方式に盛り込まれる3方式である、所得割、均等割、世帯割の方針を見極めていきたいと考えています。
また、レセプト点検や後発医薬品の使用促進、生活習慣病予防対

②特別な事情がないにもかかわらず保険税を滞納している被保険者に対しては、短期被保険者証及び被保険者資格証明書の交付を行うこととされており、行わない場合は、経営努力がされていないと判断され、国からの特別調整交付金が減額されることとなります。
③様式等は国民健康保険法施行規則の第6条で規定しており、この規定に従い、交付をしています。

傍聴席から
議場を見よう!



次回定例会 (予定)

12月7日(木)～14日(木) (一般質問は、14日(木)の予定です)

本会議の会議録は、町ホームページの「甘楽町議会」でご覧になれます

<http://www.town.kanra.lg.jp>

議会を傍聴しませんか

9月定例会の傍聴者は17人でした。

皆さんも、ぜひ傍聴にお越しください。

9月11日

織田澤群馬県議会議長
表敬訪問



9月12日

社会産業常任委員会
スマートインター
予定地視察



編集後記

今年も異常気象が各地で起こり、心配していた以上に集中豪雨が発生した。

群馬県においては梅雨期に入り、期待していた雨が降らず、水不足のため田植えを断念した農業者もいた。8月に入っても異常気象が続き、梅雨明けのはずが、雨の日が続いた。

暗いニュースばかりでなく、藤井棋士の連勝はストツプしたもの、日本中が注目し、9月3日には秋篠宮ご夫妻の長女眞子さまと小室圭さんの婚約が内定した。また、当町の話題としては、スマートインター関連事業や織田公園として「七代の墓」周辺の整備が進んでいる。

今後の町の発展を期待し、当町議会も頑張っていきたいと思う。

(中里 芳久 記)

表紙の説明

9月30日(土)、町内の小学校で運動会が開催されました。

表紙の写真は、福島小学校の運動会の様子です。

当日は、天候にも恵まれ、さわやかな秋晴れの下で熱戦が繰り広げられました。

校庭には歓声が響き渡り、多くの人の笑顔であふれました。

議会だより編集委員

委員長	富岡朝男
副委員長	中里芳久
委員	黒澤篤
	相川忠夫
	金田倍視
	江原榮和
	柳澤清次

皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。